

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年11月28日	使用開始日	
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西宗治
レジメン名	フェスゴMA【維持】【2コース目以降】(併用ケモ中止時)初発		
疾患名	乳がん(HER2陽性)	適応の備考	HER2陽性乳がんの術前術後補助化学療法
適応分類	術前術後補助化学療法	併用ケモ開始から術前術後合計1年	フェスゴ(ベルツズマブ、トラスツズマブ)および化学療法併用で化学療法が終了・中止された場合に使用
1コース日数	21 日間	総コース数	コース 催吐性リスク 軽度
抗がん剤投与量・投与日	フェスゴMA day1		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)		(day)																							
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	なし 皮下注射	フェスゴ配合皮下注【MA】	10 mL / body		●																				
	調製後4時間以内に使用 5分以上かけて皮下投与																								

【投与上の注意】

このレジメンは、フェスゴ(ベルツズマブ、トラスツズマブ)2回目以降の投与患者に使用する。
 フェスゴ皮下注: 何らかの理由により予定された投与が遅れた場合には、以下のとおり投与することが望ましい。
 ①前回投与日から6週間未満のとき: 維持投与量(フェスゴ MA)を投与する。
 ②前回投与日から6週間以上のときには、改めて初回投与量(フェスゴ IN)を投与し、次回以降は維持投与量(フェスゴ MA)を3週間間隔で投与する。
 フェスゴ皮下注: 初回投与時は、8分以上かけて大腿部に皮下投与、2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与する。
 フェスゴ皮下注: 大腿部以外への投与は避ける。
 フェスゴ皮下注: 注射部位反応が報告されているため、同一箇所へ繰り返し注射することは避け、左右の大腿部に交互に投与する等、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離す。
 フェスゴ皮下注: 皮膚が敏感な部位、皮膚に異常のある部位(傷、発疹、発赤、硬結等)には注射しないこと。
 フェスゴ皮下注: 初回投与時は30分の経過観察、2サイクル目以降は、Infusion reaction等の問題がなく、忍容性が良好であれば、観察時間は15分まで短縮可

・パージェタ+トラスツズマブ(IV)からフェスゴに切り替える場合

パージェタ+トラスツズマブ(IV)の直近の投与日から6週間未満のときにはフェスゴMA(維持投与量)を、6週間以上のときにはフェスゴIN(初回投与量)を投与し、その後は3週間毎にMA(維持投与量)を投与する。

・フェスゴからパージェタ+トラスツズマブ(IV)に切り替える場合

フェスゴの直近の投与日から6週間未満のときにはパージェタ、トラスツズマブともに維持投与量(パージェタ: 420mg、トラスツズマブ: 6mg/kg)を、6週間以上のときにはパージェタ、トラスツズマブともに初回投与量(パージェタ: 840mg、トラスツズマブ: 8mg/kg)を投与し、その後3週間毎に維持投与量を投与する。